

子どもたちの未来を育む「愛♥言葉」 ～家庭と地域の力を再考する～

現代では、子どもや家庭を取り巻く課題も複雑化・多様化していることから、家庭だけでなく地域社会全体で子どもの育ちを支え、保護者が安心して子育てができるよう支援していくことが求められています。倉吉市では、子どもたちの健やかな成長のために家庭や地域で取り組む目安として、「子どもたちを育む愛♥言葉」を作成しています。今年度の講座は、5つの愛♥言葉のそれぞれの内容にもとづくテーマで実施し、保護者だけでなく、家庭と地域がともに子どもたちを育てる地域社会の実現を目指します。

第1回 子どもと心を通わせる コミュニケーション

9月26日（土）13：30～15：00

倉吉交流プラザ 視聴覚ホール

講師 鳥取大学保健管理センター
カウンセラー・臨床心理士
宮田 知子さん



笑顔でにっこり 聴こう 話そう

第2回 子どもの主体性を育む 信じ認める心

10月13日（火）19：00～20：30

倉吉体育文化会館 大研修室

講師 鳥取大学地域学部
地域学科人間形成コース 教授
寺川 志奈子さん



見守ろう 信じよう 認めよう

第3回 とともに楽しもう 子どもと一緒にワクワク体験

10月24日（土）13：30～15：00

倉吉交流プラザ 視聴覚ホール

講師 鳥取短期大学幼児教育保育学科 教授
近藤 剛さん



やってみよう 学んでみよう とともに楽しもう

第4回 子どもの未来を守る メディアとの付き合い方

10月31日（土）13：30～15：00

倉吉交流プラザ 視聴覚ホール

講師 鳥取県デジタルシティズンシップ
エドゥケーター
垣本 雅史さん



知ろう 選ぼう 正しく使おう

第5回 子どもは地域の未来 ～家庭・学校・地域の思いをひとつに～

11月14日（土）13：30～15：00

倉吉交流プラザ 視聴覚ホール

講師 大分大学大学院 教育学研究科 教授
清國 祐二さん



関わろう つながろう みんなでともに育てよう

お申込み

電話、FAXまたは2次元
コードからお申込下さい



▲申込用2次元コード

※どれか1つの回のお申込みでもOK
（全ての回を受講した方には皆勤賞あり）

※手話通訳・託児：希望される方は、
開催日の2週間前までにその旨を
お申込みください。
（託児は、5ヶ月～小学校低学年まで）

【お問い合わせ】

倉吉市社会教育課
電話：0858-22-8167
FAX：0858-22-8180

参加費無料
どなたでも
受講できます

知っていますか？子どもたちを育む愛♡言葉

はぐく あい こと ば 子どもたちを育む愛♡言葉

～大人が変わると子どもも変わる ともに育ち合おう～

愛言葉
1

笑顔でにっこり
聴こう
話そう
(グッド・コミュニケーション)



愛言葉
2

見守ろう
信じよう
認めよう
(主体性を育む)



愛言葉
3

やってみよう
学んでみよう
ともに楽しもう
(一緒にワクワク体験)



愛言葉
4

知ろう
選ぼう
正しく使おう
(メディアとの付き合い方)



愛言葉
5

関わろう
つながろう
みんなでともに育てよう
(家庭・学校・地域でともに育てる)



地域で子どもたちを育む目安として5つの言葉をつくったよ！
講座を受講して、
地域や家庭で実践してみてね！



講座の概要

第1回

子どもと心を通わせる
コミュニケーション

「最近子どもがあまり話してくれない」、「何を考えているのか分からない」・・・思春期など子どもとのコミュニケーションが難しくなることがあります。打ち解けた話はできなくても、子どもにとって、安心して自分の気持ちを話すことができ、受け止めてもらえる大人が身近にいることはとても大切です。挨拶や傾聴など適切なコミュニケーションにより、子どもと信頼関係を育むことの重要性について、カウンセリングマインドを通じて学びます。

第2回

子どもの主体性を育む
信じ認める力

「大人しくて主張しないので、将来が不安」、「頼ってくれるのはうれしいけど、親離れできないんじゃないか？」
子育てするうえで、こんなお悩みをお持ちではありませんか？子どもは未熟な部分がありますが、未完成な存在ではありません。たとえ子どもが失敗したとしてもその結果を受け入れ認める態度が、自ら考え行動する姿勢をつくり、主体性を育みます。発達の段階に応じた、子どもへの関わり方について学びます。

第3回

ともに楽しもう
子どもと一緒に
ワクワク体験

子どもは遊ぶのが仕事というように、遊びから多くのことを学びます。しかし、時代の変化により、ゲームのように一人で楽しめる遊びが増えたり、自然の中で体を使って遊ぶ機会は減っています。幼少期の体験は豊かな感性はもちろん、これから生きていくために必要な「自己肯定感」や「人間関係能力」などを育みます。こうした体験は、幼少期にしてこそ大きな効果をもたらします。後悔しないために、子どもの今だから学んでおきたい体験の重要性について、一緒に学びましょう。

第4回

子どもの未来を守る
メディアとの付き合い方

テレビ、SNS、インターネットに潜む危険、体への影響、心への影響について押さえたうえで、子どもを守るための方策（家庭でのルール決め、スクリーンタイム、ペアレンタルコントロールなど）について学びます。
子どもにどう伝えれば理解してもらえるか、どういうルール決めをするのがよいかなど、子どもを守るために大人がすべきことについて一緒に考えましょう。

第5回

子どもは地域の未来
～家庭・学校・地域の
思いをひとつに～

子どもが健やかに成長し、社会で生きていく力を育むためには様々な人との関わりが欠かせません。そのためには、家庭・学校・地域が一体となり、地域社会全体で子どもを守り育てていくことが大切です。
家庭・学校・地域が思いをそろえながら、子どもたちを育むための取組を一緒に考え、一歩ずつ前へ進んでいきましょう。